

JSAF 派遣生 留学レポートより

先輩はセントクラウド州立大学でこんな授業を受けています！

St. Cloud State University(アメリカ・ミネソタ州) | 2024 年・2025 年秋派遣生の履修科目紹介

「留学中、実際にどんな授業を受けるの？」——参加を検討中の皆さんから一番多く寄せられる質問です。このページでは、セントクラウド州立大学へ派遣された 4 名の先輩の留学レポートから、履修した全科目を授業内容・先輩のリアルな感想とともにご紹介します。

コミュニケーション学、心理学、異文化コミュニケーション、ホスピタリティ・観光、開発経済学、メディア論、映像・音声制作、アート、アニメーション史——幅広い分野に加え、留学生向けの EAP 科目(英語・アメリカ文化)が充実しており、単位を取りながらアカデミック英語やアメリカでの学び方そのものを身につけられるのがセントクラウド州立大学の魅力です。少人数クラスやグループワーク中心の授業が多く、教授との距離が近いのも特徴です。

◆ 先輩レポート 1 コミュニケーションから開発経済まで 6 科目を履修した先輩

在籍: 獨協大学 外国語学部 英語学科(3 年・2024 年派遣) |
スピーチ、心理学、異文化コミュニケーション、観光、経済学と幅広く履修

CMST190 Introduction to Communication Studies (3 単位)	
履修した先輩	獨協大学 外国語学部 英語学科の先輩
授業形式	レクチャーの後にグループごとに実践
評価方法	計 5 回のスピーチとスピーチのアウトライン
どんな授業？	スピーチの種類、組み立て方、注目の集め方、スピーチ中の姿勢・表情・ジェスチャーを学びます。
先輩の声	私以外は現地の子だったため、ネイティブの前でスピーチをするのが少し怖かった。でも教授ができる限りサポートしてくれ、スピーチ中も現地の子がうなずきながら聞いてくれた。スピーチ後に教授から「ネイティブの前でのスピーチは怖かったと思うけど、よくやったわ。誇りに思うわ」と言ってもらえて、涙が出そうなほど嬉しかった。

CPSY330 Principles of Behavior (3 単位)

履修した先輩	獨協大学 外国語学部 英語学科の先輩
授業形式	週 2 回の授業のうち、1 回はレクチャー、1 回はグループでのワークシート
評価方法	毎週の対面クイズ、単語のフラッシュカード、グループワークシート、オンラインクイズ、期末試験
どんな授業？	なぜ人はこのような行動をとるのか、どうすれば他人の行動を促したり減らしたりできるのかを学びます。
先輩の声	内容が心理学に近く、日々の予習と復習が大変だった。ワークシートは現地の子とグループになるのでコミュニケーションが必要。最初は会話のスピードについていけず落ち込むこともあったが、少しずつ自分からも発言できるようになった。

CMST330 Intercultural Communication (3 単位)

履修した先輩	獨協大学 外国語学部 英語学科の先輩
授業形式	ディスカッション中心(アクティビティメイン)
評価方法	毎週のクイズ、数回の短いエッセイ、グループプレゼンテーション
どんな授業？	異文化、価値観の違い、カルチャーショック、ハイコンテキスト/ローコンテキスト文化を学びます。
先輩の声	教授がレクチャーするというより、みんなでどう思うか話し、それぞれの文化を共有するアクティビティメインの授業で面白かった。異文化の地に身を置く自分が「異文化交流とは」を学ぶことに意味があった。実体験と類似する内容が多く、理解も深まった。

HTSM111 Introduction to Hospitality and Tourism (3 単位)

履修した先輩	獨協大学 外国語学部 英語学科の先輩
授業形式	レクチャー(時々グループディスカッション)
評価方法	毎週のオンラインクイズ、授業内ディスカッション、大きなエッセイ 2 つ
どんな授業？	ホスピタリティとツーリズムについて学びます。日本の観光地や観光戦略も紹介され、海外視点から見た日本を学べます。
先輩の声	最も興味のある分野だったので面白かった。海外視点から見る日本を学べたのが良かった。観光業界に興味があるなら面白いと思う。教授も優しい。

ECON350 Economics of Developing Countries (3 単位)

履修した先輩	獨協大学 外国語学部 英語学科の先輩
授業形式	レクチャー
評価方法	エッセイ 3 回、試験 3 回
どんな授業？	発展途上国の問題点と改善方法、経済成長をどう促すかなどを学びます。
先輩の声	経済の内容が組み込まれ、教授の英語の聞き取りにも苦労したため、予習を大切にしました。発展途上国で生まれ育った教授から発展途上国のことを学べたのは貴重な経験だった。

EAP150 Cultural Orientation for International Students (3 単位)

履修した先輩	獨協大学 外国語学部 英語学科の先輩
授業形式	レクチャー・グループワーク
評価方法	単語テスト、教科書に沿ったサマリー作成、グループプレゼンテーション 2 回、オンラインワーク
どんな授業？	アメリカとは何か、アメリカの文化とは何かを学ぶ留学生向けの授業。授業の受け方、何がタブーか、教授へのメールの正しい送り方など、留学生活に直結する内容も扱います。
先輩の声	アメリカの「普通」がわからない私たちにとって有益な授業だった。留学生活を送るうえで役に立つ内容が多かった。

◆先輩レポート 2 心理学とメディア制作に挑戦した先輩の履修科目

在籍:青山学院大学 文学部 英米文学科(3年) | 心理学、メディア論、映像・音声制作、ライティングを履修

CPSY101 Applying Psychology (3単位)

履修した先輩	青山学院大学 文学部 英米文学科の先輩
授業形式	レクチャー・ディスカッション
評価方法	出席、ライティング課題 4 つ、毎週のオンラインクイズ
どんな授業?	自分をコントロールすること、子育てが与える影響、ストレスや死など、生活に身近な心理学を学びます。心理学専攻の大学院生と 5 回のカウンセリング形式のセッションを行いレポートを書く課題もあります。
先輩の声	ほぼ毎回グループディスカッションがあり、自分の意見を言うのは大変だったけど、クラスメイトのストレス対処法などが参考になった。大学院生とのセッションでは、留学中に抱えていたストレスや不安の話を聞いてくれて、一緒に解決法を考えてくれて、すごく助けになった。

MCOM200 Introduction to Mass Communication (3単位)

履修した先輩	青山学院大学 文学部 英米文学科の先輩
授業形式	レクチャー
評価方法	不定期の出席確認、テスト 3 回、ドキュメンタリーを見てレスポンスシートを書く課題 2 つ
どんな授業?	アメリカの様々なメディアの歴史や変化を学びます。
先輩の声	日本ではここまでメディアを掘り下げる授業はなかったので、メディアの所有構造など細かい仕組みも学べて楽しかった。成績はほぼテストが全てなので、テスト 2 週間前くらいからテスト勉強に追われていた。

MCOM207 Introduction to Mass Media Technology (3 単位)

履修した先輩	青山学院大学 文学部 英米文学科の先輩
授業形式	実践
評価方法	実践的な課題 3 つ(オリジナル映画の予告編制作、短編動画制作[グループ]、ラジオ制作[ペア])
どんな授業?	カメラやオーディオレコーダー、Adobe Premiere Pro・Adobe Audition の使い方と実践練習。実際に映像・音声作品を制作します。
先輩の声	すべて初めてのことですごく大変だったが、映像や音声という形に残るものになったので達成感がすごくあった。ラジオを撮る課題では本物のラジオパーソナリティーのようにスムーズに会話するのが大変だった。

ENGL191 Introduction to Rhetorical and Analytical Writing (4 単位)

履修した先輩	青山学院大学 文学部 英米文学科の先輩
授業形式	レクチャー・ディスカッション・実践練習
評価方法	エッセイ 3 本(Personal Narrative、Rhetorical Analysis、Research Paper)、出席・参加率、ピアレビュー 3 回、ライティングセンター利用など
どんな授業?	他の授業でも使える基本的なエッセイのフォーマットと、説得力のあるエッセイの書き方を学びます。リーディング、ディスカッション、ライティングのスキルが総合的に鍛えられます。
先輩の声	課題が多く授業スピードも速めで、履修したクラスの中では大変な方だったけど、取ってよかった。エッセイは先生やライティングセンターに何度も見せに行き、先生に「自信を持っていいよ」と言ってもらえたのがかなりの自信につながった。

EAP150 Cultural Orientation for International Students (2 単位)

履修した先輩	青山学院大学 文学部 英米文学科の先輩
授業形式	オンラインレクチャー + 数回の対面レクチャー
評価方法	4 ユニット分の Vocabulary Journal・Culture Journal・Reading Quiz、期末試験
どんな授業?	文化によってリアクションが全然違うことなど、アメリカだけでなく様々な文化の側面を学びます。「この文化だから全員同じ考え方」ではなく、あくまで傾向だということも学びます。
先輩の声	数回あった対面授業では様々な国の留学生と交流できた。毎週きちんと課題が出るのは大変だったが、文化を相対的に見る視点が身についた。

◆ 先輩レポート 3 アートとアニメーションを学んだ先輩の履修科目

在籍：青山学院大学 総合文化政策学部 総合文化政策学科(4 年) | 立体造形、世界の美術、アニメーション史を履修

ART111 3D Materials and Processes (3 単位)

履修した先輩	青山学院大学 総合文化政策学部 総合文化政策学科の先輩
授業形式	実技
評価方法	レポート課題 1 回、複数回の 3D 作品制作
どんな授業？	粘土や金属、木材を使った立体造形の制作と、道具の使い方を学びます。
先輩の声	グループでの課題制作はメンバーと会話しながら楽しく取り組みました。個人課題はいくらでもこだわられるが故に、やめ時を決めるのが割と大変でした。

ART131 Introduction to the Visual Arts of the World (3 単位)

履修した先輩	青山学院大学 総合文化政策学部 総合文化政策学科の先輩
授業形式	レクチャー
評価方法	初回の絵を描く課題、中間テスト、期末テスト
どんな授業？	まず「アートとは何か」を学び、その後、世界各国のアートを一つ一つ画像で見していきます。
先輩の声	イントロダクションの授業なので苦労はあまりありませんでしたが、自分の興味のあるアートについて日本人以外の視点で解説してもらえたのは、これまでにない経験で面白かったです。

FS264 Animation History (3 単位)

履修した先輩	青山学院大学 総合文化政策学部 総合文化政策学科の先輩
授業形式	レクチャー・映像鑑賞
評価方法	毎授業後のミニレポート、中間ペーパー、期末ペーパー
どんな授業？	アニメーションの始まりから現在の世界各国のアニメーションまで、実際の映像を見ながら解説を聞きます。
先輩の声	日本のアニメは世界に誇れるものだと思っていますが、日本以外の国にも素晴らしいアニメーションがたくさんあると知ることができて嬉しかったです。

MCOM200 Introduction to Mass Communication(オンライン) (3 単位)

履修した先輩	青山学院大学 総合文化政策学部 総合文化政策学科の先輩
授業形式	オンライン(主にリーディング)
評価方法	毎授業後のクイズ、テスト 3 回、期末レポート
どんな授業？	教科書の指定範囲を読んでクイズに答える形式のオンライン授業です。
先輩の声	オンライン授業のため先延ばしにしたり課題の提出期限を間違えたりで、単位を落としてしまいました。自己管理が苦手な人にはオンライン授業はおすすめしません。(後輩のみなさんへの正直なアドバイスです！)

先輩が感じた、セントクラウド州立大学の授業のここがすごい！

「教授と学生の距離が近い。学生が意見を発表した後、教授が質問をすると、それに対して学生が『それはいい質問だね』と言える距離の近さに驚いた。基本的に日本に比べると少人数体制で、グループ活動が多かったです。」

—— 2024 年派遣・獨協大学の先輩

「実践的な授業が多く、講義の授業内でもディスカッションの時間が多い。少人数の授業が多かったのも、先生が生徒の名前を覚えてくれていて、生徒と先生の距離が近いと感じた。ただ、フレンドリーな先生や積極的な生徒は日本より確実に多いものの、全員に当てはまるわけではないということもわかった。」

—— 青山学院大学(文学部)の先輩

「先生の発言中でも構わず質問を投げかけるところや、授業を受ける態度のラフさが日本とは違う部分だと思いました。」

—— 青山学院大学(総合文化政策学部)の先輩

「生徒に意見を求めた時にほとんどの生徒が自分の意見を持っており、日本では考えられないほど全員が発言をする。また、プレゼンの機会がかなり多かった。」

—— 2025 年秋派遣・成城大学の先輩

※ 本ページの内容は 2024 年・2025 年秋派遣生の留学レポートに基づいています(先輩レポート 4 は秋学期終了時点の内容です)。開講科目・評価方法は年度により変わる場合があります。